

# 大型クラゲ情報

## 太平洋・津軽海峡・陸奥湾（湾口部の脇野沢）で増加傾向

### (1) 県内の出現状況（水産振興課・各水産事務所・普及所調べ、9月16日現在）

- ・県内各海域の出現状況は下表のとおり。
- ・太平洋北部では連日1,000個を超える入網が続いており、太平洋南部でも増加傾向にあり、八戸市種差沖の定置網で9月15日に1,000個の入網がありました。本県太平洋側は今後もまとまった出現が続くものと思われるので、注意してください。
- ・陸奥湾（湾口部の脇野沢）及び津軽海峡東部でも増加傾向にあり、1,000個を超える入網がありました。
- ・日本海では9月11日定置網に最大500個の入網がありました。
- ・サイズ（傘径）は太平洋北部で50cm～150cm、その他の海域では50cm～100cmが主体となっており、すでに大型の個体が見られています。

表 大型クラゲの出現状況（定置網等の1ヶ統あたりの入網数）

日/海域	日本海	海峡西部	陸奥湾	海峡東部	太平洋北部	太平洋南部
9月10日	60	-	-	1～45	15～1,000以上	30
9月11日	30～500	-	5～200	7～637	3～1,000以上	-
9月12日	25	-	80	-	-	-
9月13日	0～100	-	50～600	1～400	130～1,000以上	-
9月14日	10～50	-	50～1,000以上	114～150	50～1,000以上	1～200
9月15日	0～50	-	-	128～1,000以上	500～600	1～1,000
9月16日	0～40	-	-	-	1,000以上	2～4



その他

- ・沖合底びき網：青森県日本海側で9/10から9/16の間、1回の曳網で1～3個入網
- ・JAFICの航空機調査：9/15八戸沖（40°40' N 141°53' E, 40°52' N 141°35' E）で多数確認。多いところでは5m四方に2～3個体。

### (2) 全国の出現状況及び出現予測（漁業情報サービスセンター（JAFIC）調べ、9月16日現在）

- ・若狭湾周辺の定置網に1,000個を超える入網が続いており、北海道松前町も入網数が増加しています。太平洋側でも岩手県でも定置網に500個を超える入網があり、先端は宮城県に達した個体があります。
- ・（独）水産総合研究センターの予測によると、今後、日本海から津軽海峡に流入する大型クラゲの量が増加すると考えられることから、太平洋東北沿岸での出現量も徐々に増す恐れがあり、十分な注意が必要です。

### (3) 駆除の状況（青森県定置漁業協会、JAFIC発表、9月17日現在）

- ・六ヶ所村の定置網では、9月16日、17日に、大型クラゲによる漁業被害を軽減するための駆除を実施しており、今後も県内各地の定置網で駆除が実施される予定です。
- ・鳥取県の日本海沖合でも、底びき網による駆除を実施しております。

県内の定置網等で実施されている対策を事例集としてまとめました（9月11日更新）

URL : [http://www.pref.aomori.lg.jp/sangyo/agri/suisan\\_kuragetodo.html](http://www.pref.aomori.lg.jp/sangyo/agri/suisan_kuragetodo.html)（「青森県 クラゲ」で検索を！）